



今月の表紙

弥生祭



日光に春を告げる伝統的なお祭りである弥生祭が、4月13日(土)～17日(水)に行われました。

16日の宵まつりでは、東西11町の花家体がお囃子を奏でながら町内を巡り、神橋に集合し登橋神事が行われました。

翌17日には付祭が行われ、東町各町は、神橋から中山通りまで続く急な坂道である長坂を進行し、各町が協力しながら花家体を進める様子に、観客からも声援が飛びました。二荒山神社境内への繰り込みが終わり東西各町がそろると、「ご町内ご一同様によろしく」との口上を述べる名刺交換の儀式が、各町の若衆により威勢よく行われました。

表紙を飾ったのは今年の先番当番町の花石町。祭儀部長を務める三木輝男さんは「3月下旬からお囃子の練習をはじめ、直前までみんなで励んできました。先番当番町として、最後まで祭りを盛り上げたいと思います」と意気込みを話してくれました。



4月21日(日)に鬼怒川温泉街で鬼怒川温泉さくらまつりが開催されました。あいにくの雨でしたが、会場は多くの人でにぎわいました。イベントでは、書道家の涼風花さんとミュージシャンでとちぎ未来大使のi-n-o-sが書道とライブのコラボレーションなどを行いました。



また、桜並木通りでは、よさこいパレードが行われ、県内外から約400名が参加しました。栃木市からよさこいパレードに参加した松本米子さんは「5年以上続けて参加しています。雨の中、皆さん一生懸命踊っていました。この後のよさこいのコンテストが楽しみです」と笑顔で話してくれました。



4月26日(金)、霧降高原で霧降高原キスゲ平園地開園式が行われました。レストハウス前でテープカットの後、園地ではニッコウキスゲの植栽が行われました。園地には小丸山山頂に続く散策路が整備され、空に続くような1、4、5段の階段や一部バリアフリーのルートもあり、植物を間近で楽しむことができます。



レストハウスを指定管理する自然公園財団の瀬戸静恵さんは、「ニッコウキスゲをはじめ園内には多くの植物があるので、旬な情報をどんどん発信していきたいと思えます。日光の歴史についても勉強をしながら、地元の方々と交流を図っていききたいです」と意気込みを話してくれました。

鬼怒川温泉さくらまつり

霧降高原レストハウスオープン

春の植樹デー

今年で18回目を迎える春の植樹デーが、4月27日(土)・28日(日)の2日間、足尾町で開催されました。



初日の27日は、日差しは降り注いでいたものの、風が強く小雪も散らつくあいにくの天気。それでも県内外から集まった700名以上の参加者たちは、思い思いのペース

でケヤキやカエデなどの苗木を植えていました。宇都宮市から父親と訪れた関口祐加ちゃんも、「疲れたけど楽しかった。植えた木が大きくなるといいな」と笑顔で答えてくれました。



会場では、宇都宮市出身の歌手、せきぐちゆきさんによるミニコンサートが行われた他、温かい豚汁が振る舞われ、植樹を終えた参加者たちは舌鼓を打っていました。

春一番風街道2013



4月13日(土)～5月12日(日)に鬼怒川温泉郷で、春一番風街道2013が開催されました。約1万4,000本のピンク色や黄色、水色などのカラフルな風車が鬼怒川温泉駅前を彩りました。春風を受けてカラカラと音を立てて回る風車を、多くの観光客が足を止めて眺めていました。

水陸両用バス運行開始

4月19日(金)に、湯の郷湯西川観光センターで水陸両用バス運行開始式典が開催されました。



運行初日の19日は、43名が乗車し、バスがダム湖に着水する瞬間に乗客は大きな歓声を上げていました。なお、このバスは、12月1日(日)まで1日5便運行しています。

滝尾神社例大祭



4月13日(土)・14日(日)にかけて、今市地域の滝尾神社で春の例大祭が行われました。

今年は小倉町5丁目が当番町を務めました。

当日は、春の暖かい陽気の中、神社入口に立てられた山岡鉄磨ののぼりの下から、かつての公家装束を身にまとった人たちが、華やかな衣装を着飾ったかわいらしい稚児たちが神輿を先導し、氏子町内を練り歩きました。

町内には多くの見物客が集まり、稚児たちに温かい声をかけていました。

行列を見学していた今市地域在住の中野京子さんは「滝尾神社の例大祭は毎年見物していますが、天候にも恵まれ、行列に参加している子供も多く、華やかで良かったです」と笑顔で話してくれました。

